

# 2024年度 社会系教科教育学会 第36回研究発表大会プログラム

## 1 期 日

2025年2月15日（土） シンポジウム、課題研究発表、理事会、総会（対面型）  
2025年2月15日（土）～3月14日（金） 自由研究発表（オンライン掲載型）

## 2 場 所

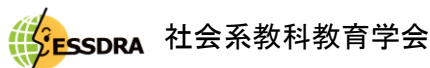
兵庫教育大学加東キャンパス嬉野台地区 共通講義棟

## 3 日 程

2025年2月15日（土）

8:30	9:30	12:00	13:30	16:00	16:10	16:45
	受付	シンポジウム	理事会	課題研究 I・II		総会

## 4 主 催



## 5 後 援

国立大学法人 兵庫教育大学  
日本教職大学院協会  
兵庫県教育委員会  
神戸市教育委員会  
加東市教育委員会

## 研究発表大会事務局

〒673-1494 加東市下久米 942-1 兵庫教育大学内

社会系教科教育学会 第36回研究発表大会事務局 山内敏男

e-mail: tyamachi@hyogo-u.ac.jp

2月15日(土)

シンポジウム(9:30 - 12:00)

対面型: 共通講義棟106)

### シンポジウムテーマ

## 社会系教科教育で育成できる資質・能力を問い直す

社会系教科教育研究において、これまで児童・生徒に培いたい資質・能力形成にかかわる議論は数多くなされてきた。近年では、例えば「エージェンシー」や「社会情動的スキル」などが取り沙汰され、獲得がめざされている。一方で、これまで実践者・研究者の立場から改革や改善の名のもと流行に過剰期待し、理論と称して都合よく適合させてきた面、教師が取り入れたい内容や方法がクローズアップされ、育てたいこと、実際に育った資質・能力ではなく、都合よく切り取られて成果が語られてきた面はなかったのだろうか。

こうした課題は目の前にいる児童・生徒にとって本当に必要な資質・能力なのか、必要とされるのはなぜかについて、十分に吟味されることがないまま授業が開発されてきたことに起因していると仮定しても大きく外れてはいないだろう。

そこで本シンポジウムでは、社会系教科において育成できる資質・能力について改めて問い直し、議論するために、以下のような問いを立てたい。①そもそも社会系教科においてどのような資質・能力を育てることが可能なのか、②育てたい資質・能力に沿った授業はいかに開発・実証され、いかなる成果と課題を有したのか、③これからの社会系教科教育において育成が有用である資質・能力とはいかなるものなのか。これらの問いに対する登壇者の提案をもとに、参加者との議論を通して、社会系教科で育成できる資質・能力の実質化を探りたい。

### シンポジスト

学校教育における社会系教科授業で育む子どもの資質・能力と授業方法のあり方  
—小学校の子どもや教師、教育の特性を生かして—

長崎大学 新谷和幸

「説得的な意見を作る力」を育成する社会科授業の開発と検証

備前市立日生中学校・岡山大学大学院 湯本育美

社会系教科における“議論力”の育成を問い直す

—民主社会形成への貢献(affordance)と抑制(constraint)の視点から—

伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校・筑波大学大学院 植原督詞

指定討論者

兵庫教育大学 濱野 清

コーディネーター

愛媛大学 井上昌善  
兵庫教育大学 山内敏男

---

社会系教科教育学会・理事会 (12:00 - 13:30 対面型 共通講義棟114)

---

課題研究 (13:30 - 16:00 対面型)

---

課題研究Ⅰ 初等社会系教科教育における資質・能力の育成を問い直す (共通講義棟106)

課題研究Ⅰでは、本シンポジウム「社会系教科において育成する資質・能力を問い直す」に基づき、初等社会系教科について次の問いを設定した。①そもそも初等社会系教科においてどのような資質・能力を育てることが可能なのか、②初等社会系教科において育てたい資質・能力に沿った授業はいかに開発・実証され、いかなる成果と課題を有したのか、③これからの初等社会系教科教育において育成が有用である資質・能力とはいかなるものなのか。これらの問いに対する登壇者の提案をもとに参加者との議論を通して、初等社会系教科で育成する資質・能力の実質化を探りたい。

シンポジスト

省察的な思考態度の育成を目指した小学校社会科授業の開発

— 単元開発と評価の改善の試みを事例として —

広島大学附属小学校 野元祥太郎

納得を伴う主体的な理解を促す小学校社会科授業構成

— 第5学年単元「魚が食べられなくなる日はくるの!」の開発と実践を通して —

呉市立荘山田小学校 高下千晴

新たな問いを生み出す過程に着目した社会科授業

— 身近な事象の社会的価値を考える「移動スーパーとくし丸」の実践 —

高知大学教育学部附属小学校 野村晃弘

指定討論者

岐阜大学 須本良夫

コーディネーター

兵庫教育大学 吉川修史

京都女子大学 松岡 靖

課題研究Ⅱ 中等社会系教科教育における資質・能力の育成を問い直す (共通講義棟108)

課題研究Ⅱでは、シンポジウムでの「社会系教科において育成する資質・能力を問い直す」についての議論をもとにして、以下のような問いを立てたい。①そもそも中等社会系教科においてどのような資質・能力を育てることが可能なのか、②中等社会系教科において育てたい資質・能力に沿った授業はいかに開発・実証され、いかなる成果と課題を有したのか、③これからの中等社会系教科教育において育成が有用である資質・能力とはいかなるものなのか。これらの問いに対する登壇者の提案をもとに、参加者との議論を通して、中等社会系教科で育成する資質・能力の実質化を探りたい。

シンポジスト

社会科の議論学習における資質・能力の育成

—議論を重視した授業における評価シート活用の事例から—

瀬戸内市立邑久中学校 岡島春恵

学校教育目標や学校研究テーマからつくる社会科授業

—資質・能力を「生かす」「引き出す」視点から—

お茶の水女子大学附属中学校 渡邊智紀

歴史的な見方・考え方に関わる「評価のためのツール」の可能性

—中学校社会科歴史の実践を事例として—

四日市市立富洲原中学校・兵庫教育大学連合大学院 松村謙一

指定討論者

岡山大学 桑原敏典

コーディネーター

兵庫教育大学 福田喜彦

千葉大学 阪上弘彬

---

社会系教科教育学会・総会 (16:10 - 16:45 対面型 共通講義棟106)

---

2月15日～3月14日

---

自由研究発表 (2月15日～3月14日 オンライン掲載型)

---

【第1分科会】初等社会科教育

- (1) 未来を拓く子どもを育む平和学習プログラム構築に向けた実践的研究  
広島経済大学 胤森 裕暢  
長崎大学 新谷 和幸
- (2) 葛藤—議論を通して社会的な見方・考え方を育成する小学校社会科の授業開発  
—第6学年単元「戦争の中で人々は…」を事例として—  
芦屋市立岩園小学校 松尾 駿
- (3) 子ども自身が変化・成長を捉える社会科評価研究—小学6年歴史学習を事例として—  
兵庫教育大学大学院 万壽本寛之
- (4) 教科教育と教科専門の協働による地理を基盤とした初等社会科内容構成に関する研究  
文教大学 伊藤 裕康
- (5) 小学校社会科における「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業の研究  
—社会機能の分析モデルを活用した発問づくりを通して—  
宇検村立田検小学校 吉元 輝幸
- (6) 小学校社会科都道府県学習におけるデジタル学習材の開発—兵庫県を事例として—  
兵庫教育大学 吉川 修史  
芦屋市立岩園小学校 松尾 駿  
加東市立社小学校 宮苑 聖輝
- (7) 自然災害から電力供給の役割・影響・関連について考える  
—小学校社会科エネルギー環境学習の単元開発—  
長崎大学 新谷 和幸
- (8) 学習評価「できるようになること」と育成すべき資質・能力を踏まえた小学校社会科反復  
授業—当事者性を涵養し同学年全単元を繋ぐ共通概念キーワードを通して—  
静岡市立服織小学校・静岡大学愛知教育大学連合大学院 大西 洋
- (9) デザイン思考を用いて地域像を再構成する小学校社会科地誌学習  
—第4学年「東京都のゆるキャラをつくろう」を事例にして—  
学習院初等科・兵庫教育大学連合大学院 大矢 幸久

(10) 構成主義的アプローチによる小学校社会科授業の開発

—第4学年単元「風水害からくらしを守る—高砂市—」の場合—

兵庫教育大学大学院 堀川 太慧

(11) シビックプライドを醸成する生活科授業開発に関わる基礎的研究

—「まちたんけん」学習に関わる授業の分析を通して—

高知大学 末永 琢也

(12) オンラインを活用した日中社会科授業に関する鑑識眼的研究

—小学校社会科のごみ問題を事例にして—

鳴門教育大学 井上 奈穂

(13) E L S I（倫理的・法的・社会的課題）を視点として、デジタル・シティズンシップの育成をめざす小学校社会科授業の開発～第5学年単元「物流『2024年問題』を考える」を事例として～

広島大学附属三原小学校 原紺 政雄

広島大学附属小学校 野元祥太郎

広島大学附属小学校 深渡瀬聖子

広島大学附属東雲小学校 伊藤 公一

広島大学附属東雲小学校 西畑 郁希

広島大学附属三原小学校 森 清成

広島大学附属三原小学校 松林 泰弘

広島大学 永田 忠通

広島大学 渡邊 巧

大分大学 渡邊 大貴

(14) 当事者性の涵養を目指す小中学校社会科授業の開発—法と政治制度に着目して—

広島大学附属三原小学校 森 清成

広島大学附属三原小学校 松林 泰弘

広島大学附属三原小学校 原紺 政雄

広島大学附属三原中学校 河原 洸亮

広島大学附属三原中学校 柳生 大輔

広島大学 永田 忠道

広島大学 川口 広美

※ (15) 分科会変更

(16) グローバルシティズンシップ教育の意義と課題

—小学校社会系授業における実践と児童の意識変容—

さいたま市立教育研究所 須賀 知宏

(17) 韓国における人権感覚を高めるハンセン病学習の実践的研究

—光州教育大学附属小学校での授業を事例にして—

兵庫教育大学 福田 喜彦

【第2分科会】中等歴史教育

(1) 未来洞察型スキルの発達プロセスに関する研究—近年の未来研究の成果に着目して—

兵庫教育大学連合大学院 岩橋 嘉大

(2) 「奈良時代＝律令国家」という時代像を揺さぶる中学校歴史的分野の単元開発・実践

—イラスト資料の活用と官人の律令の運用に関する研究に注目して—

太宰府市立太宰府西中学校 高松 尚平

独立研究者 奥村 尚

(3) 失われつつある記憶の継承を通して社会の在り方を考える中学校歴史学習の授業開発

—詫間海軍特別攻撃隊を通して—

香川大学大学院 勝部 雛子

(4) 「困難な歴史」を扱う中学校・高等学校歴史カリキュラム開発

—研究者・実践者との協働を通して—

宮崎産業経営大学 小野 創太

太宰府市立太宰府西中学校 高松 尚平

千葉県立東金高等学校 山村 向志

(5) 現代史事象を通して歴史の教訓を学ぶ授業モデルの開発

—単元「第二次ベルリン危機における国家リーダーの政治指導」を事例として—

美祢市立豊田前小学校 松村 淳

(6) 歴史的エンパシーを活用しながら市民的資質の育成を目指した歴史授業の開発

—歴史総合・単元「ホロコーストと『普通の人びと』」を事例として—

岡山大学大学院 清川 美空

(7) 中学校社会科歴史的分野における構想型歴史学習の開発

高知大学大学院 田内 南央

(8) 中学校現場の社会科授業でめざされる理解に関する研究

—歴史的分野「大化の改新」の理解—

長崎大学 土肥大次郎

(9) なぜ当事者研究では「弱さ」を語るのか①

宮崎市立宮崎中学校  
宮崎大学  
鬼塚 拓  
藤本 将人

(10) なぜ当事者研究では「弱さ」を語るのか②

宮崎大学  
宮崎市立宮崎中学校  
藤本 将人  
鬼塚 拓

(11) 歴史文化学習の教育実践を促進する歴史教師養成  
ードイツのラインラント・プファルツ州における事例ー

山梨大学  
服部 一秀

(12) 地球市民意識を涵養する探究的歴史教育の内容開発研究

阪南大学  
祐岡 武志

### 【第3分科会】中等地理・公民教育

(1) 生徒の意見形成要因の分析資料の性質が生徒に及ぼす影響に着目して

追手門学院中高等学校  
梶 哲

(2) メタ認知を見取るルーブリックの開発実践研究ー中学校社会科を事例にー

中野区立明和中学校  
京都市立久世中学校  
金子 遥  
弘田 真基

(3) 中学校社会科（地理的分野）における地歴融合単元の開発  
ー近世城下町における寺社の位置付けに着目してー

広島大学附属中・高等学校・広島大学大学院  
原田 歩

(4) 「地理総合」開始期の高校生の東日本大震災の記憶と経験  
ー被災地における「防災」授業づくりの手がかりを求めてー

宮城県泉館山高等学校  
石橋 拓也

(5) 社会科教育における「主体的な学び」の再考  
ー学習方法論としての「カリキュラム・ネゴシエーション」の視点からー

大阪産業大学  
宅島 大堯

(6) 松崎重広のグラフを活用した「社会の科学」の開発教材  
ー量率グラフと〇〇の名産地の授業の考察を中心としてー

兵庫教育大学連合大学院・研究生  
中尾 浩章



- (7) 地域開発の政治的意図を読み解く中学校地理学習  
 ー所沢市周辺の街づくり・再開発と開智所沢の設置を事例としてー  
 開智所沢中等教育学校 齊藤 征俊
- (8) 戦前公民科における「私法」の位置づけー国家意識と関わらせてー  
 新潟大学 釜本 健司
- (9) 市民性教育における時事的論争問題学習の可能性について  
 ー生徒の当事者性、有用感・効力感の自覚を通してー  
 広島県三原市立第三中学校・広島大学大学院 山口 努
- (10) 戦争を自分事として多面的・多角的に考察する中等社会科教育内容開発  
 ー単元「日本が攻められないためにはどうすればよいか」の場合ー  
 西九州大学 松井 克行
- (11) 高校公民科における「ケア」の扱いの現状と課題  
 ー「倫理」教科書の記述および学習指導要領の記述をもとにー  
 日本文理大学 斉藤 雄次
- (12) 法的思考力の育成を目指した公民科目の実践開発  
 法的フレームワークを用いた事例分析学習  
 京都橘中学校・高等学校 川野 将寛
- (13) 社会的な見方・考え方を働かせた批判的思考力を育成する社会科授業づくり  
 島根大学大学院 森田 敦裕

#### 【第4分科会】社会系教育史、教師教育等

- (1) 社会科における中学生の評価観に関する事例研究  
 ー国立大学附属に勤務する教師に着目してー  
 大阪教育大学大学院 岡本 慎平
- (2) 遠隔教育の実践力向上を図る初等社会科教員養成カリキュラムの開発・実践研究  
 北海道教育大学釧路校の「初等社会科教育法AC」を事例として  
 北海道教育大学 玉井 慎也  
 浜中町立霧多布中学校 佐藤 健翔  
 札幌市立白楊小学校 小野 優斗

- (3) 市民性の育成を志向する社会科授業を下支えする小学校の学級風土はどうあるべきか  
—ICCS 調査要素を用いた小学校社会科教師における動的な学級経営に着目して—  
千里金蘭大学 山方 貴順
- (4) リアルな教室文脈をふまえた授業開発ができる社会科教師をいかに育てるか？  
—米国教員志望学生評価システム「edTPA」の分析を通して—  
広島大学大学院 山本 亮介
- (5) 社会科授業における教師の専門的能力の継承の可能性  
長岡文雄の理論を学び実践化した教師たちの語りの分析から  
兵庫教育大学連合大学院 漆畑 俊晴
- (6) 社会科教育実践としての『山びこ学校』の特質  
—無着成恭の社会科教育観の様相と形成要因をふまえて—  
鹿児島大学 大野木俊文
- (7) 「認識的不正義の是正をめざす社会科」を実践する米国の教師に関する事例  
研究実践の正当化を示す戦略に注目して  
広島大学大学院・日本学術振興会特別研究員 田中 峻斗
- (8) 小学校教員は社会科共同実践を通じて、何をどのように学んでいるのか？  
—教師の学びの特質と研修改善の可能性—  
広島大学大学院 迫 有香